

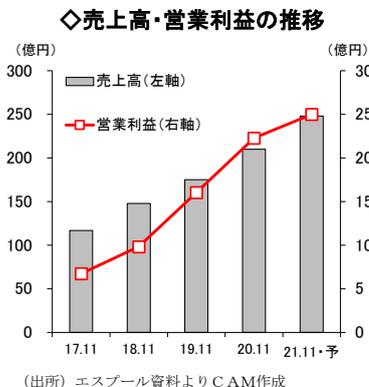
企業ニュース エスプール

(東証1部：2471) <https://www.spool.co.jp>

作成者：村上大志

障がい者雇用支援に対する豊富なノウハウを持つ

1999年設立。コールセンターや販売支援スタッフの派遣・紹介を中心とする人材ソリューション事業と、農業を通じた障がい者雇用支援やEC事業者向け物流支援サービスなどを手掛けるビジネスソリューション事業を展開する。障がい者雇用支援では、障がい者の雇用を希望する企業に対して採用から職場（農園）の提供、教育までトータルでサポートする。障がい者の法定雇用率の段階的な引き上げや、SDGs（持続可能な開発目標）への関心の高まりなどから、民間企業の障がい者雇用は積極化しており、同社への需要は拡大傾向にある。中期経営計画では25.11期の売上高410億円、営業利益50億円を目指す。20.11期のセグメント別売上高構成比は人材ソリューション72%、ビジネスソリューション28%。



通期計画達成に向けて順調に進捗

21.11期・第3四半期累計（12-8月）の連結業績は売上高が180億円、前年同期比18%増、営業利益が19億円、同24%増。人材ソリューションの売上高は127億円、同13%増、営業利益は15億円、同12%増。新型コロナウイルス関連のスポット案件の取り込みでコールセンターサービスが大きく伸長し、緊急事態宣言の影響により低調だった販売支援の落ち込みをカバーした。ビジネスソリューションの売上高は53億円、同32%増、営業利益は14億円、同35%増。主力の障がい者雇用支援サービスではストック収入となる農園管理料が順調に増加したことに加え、費用削減などで増収増益となり、業績に寄与した。

21.11期の会社計画は売上高が248億円、前期比18%増、営業利益が25億円、同12%増。障がい者雇用支援サービスでは、設備販売が集中する第4四半期（9-11月）に向けて、営業活動・農園開設は順調に進んでいる。法改正を追い風に受注は好調で、業績への貢献が見込まれる。神奈川県への初進出に向けた準備も開始しており、来期以降のさらなる成長が期待できよう。新規事業では、環境情報開示のコンサルティング業務などの環境経営支援サービスが好調に推移している。

【株価動向・投資判断】

主力事業の深掘りによる成長に加え、足元で需要が高まっている環境経営支援サービスや地方自治体向けBPOサービスといった新規事業の拡大が期待される。

<2471 エスプール 業績：日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
19.11	17,522 (18)	1,604 (63)	1,626 (61)	1,082 (75)	13.7	記2.00
20.11	21,009 (20)	2,228 (39)	2,229 (37)	1,580 (46)	20.0	3.30
21.11 予	24,800 (18)	2,500 (12)	2,488 (12)	1,635 (3)	20.7	4.10



株価 (2021/10/8)	1,162 円
年初来高値 (高値日)	1,181 円 (21/3/30)
同 安値 (安値日)	713 円 (21/1/12)
予想 P E R (21.11 予)	56.1 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	69.2 円
P B R	16.80 倍
予想配当利回り	0.35 %
(1株当たり配当金4.10円)	
R O E (20.11)	42.2 %
発行済み株式数	7,901 万株